

平成 25 年度 第 1 回

「伊勢音頭恋寝刃」

- 4 月 15 日（月） 13:30～15:00
- 講師/南山大学人文学部 教授 安田文吉氏
- 会場/次号にてお知らせします

今年には神宮の式年遷宮ですが、伊勢での歌舞伎は、上方歌舞伎の若手の登竜門と言われました。『伊勢音頭恋寝刃』と伊勢との関わり、また、上方歌舞伎・江戸歌舞伎との関わりを巡ってお話しします。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

第2回 博物館明治村「心豊かに暮らす工夫」

- 期日/5月9日(木)
- 講師/博物館明治村 学芸員
- 会場/博物館明治村
- 集合/博物館明治村正門 11:00 (名鉄バスセンター9:40、栄バスセンター9:57の都市間高速バス桃花台線明治村行をご利用になると便利です)
- 定員/30名(先着順)

明治に建てられた個人の住宅は、江戸時代からの日本建築の技を受け継ぐとともに、欧米における最新の様式を取り入れ、それらをうまく融合させたものが多くみられます。随所に暮らしやすくするための意匠が凝らされ、加えて、住む人の趣味などを反映させた建物には、現代にはなくなってしまった落ち着いた佇まいの空間が広がり、そこに身を置くことで心が豊かになったようなやすらぎを感じることができます。

今回は、博物館明治村の学芸員の方の案内で、名古屋の中心部に建てられ、明治34年に今日の姿となった日本建築の東松家住宅と、明治44年に西宮市に別荘として建てられた洋風建築の芝川又右衛門邸をめぐり、建物を見ながらそれらの住宅に込められた明治の人々の思いと工夫を伺います。講座の後は自由参観となりますので、春の明治村の散策を楽しめます。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

第3回 「戦前－戦後の地図で見る名古屋」

- 期日／6月3日（月） 15:00～16:30（いつもと時間が変わっています。ご注意ください）
- 講師／（一財）日本地図センター客員研究員 今尾 恵介氏
- 会場／名古屋商工会議所ビル3階第4会議室

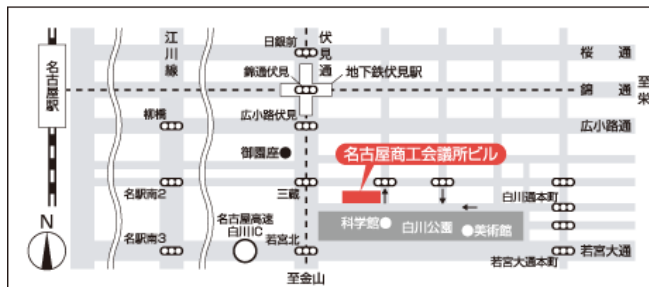
都市の地図を時系列的に観察していくと、その発展の軌跡がよくわかります。名古屋市では、たとえば鉄道なら明治19年開通の東海道本線や同31年の名古屋電気鉄道（市電の前身）に始まって新幹線、地下鉄に至るまでのネットワークの伸長を読み取ることができるし、町名に注目すれば、碁盤目に区画された尾張徳川氏の城下町以来の、あるいは清須城下町から移ってきた由緒あるものに至るまでが古図には表示され、またそれが住居表示で消えて行った軌跡がわかります。海辺の新田から工業地帯への変貌や雑木林の丘陵地から住宅地への変遷も実に顕著なものがありました。

今回は、地図の研究家として多くの著書のある今尾恵介氏から、郷土を調べる際に重要な資料となる新旧地形図・市街図の利用法について、話を伺います。

■教養講座の会場が変わります

6月3日（月）開催の教養講座から、会場が名古屋商工会議所ビルに変わります。これまで開催していた伏見ライフプラザから伏見通りを挟んだ東側となります。お間違いの無いようお越しください。

交通：地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車5番出口南へ徒歩5分



マリーゴールド倶楽部 教養講座

第4回 名古屋ボストン美術館

「アートに生きた女たち」

- 期日／7月17日（水）
- 講師：名古屋ボストン美術館 学芸員 比戸奈津子 氏
- 会場：名古屋ボストン美術館
- 集合：金山南ビル（名古屋ボストン美術館のあるビル）1階インターコモン付近 9:50
- 定員：40名（先着順）

あらゆる分野で女性の活躍が目覚ましい現代。しかし芸術の世界では、近代までその主流は男性でした。そのような時代においてもプロフェッショナルとしての創作活動を貫いた女性芸術家たちがいました。

本展は、ヴィジェ・ルブランを序章としてモリゾ、カサット、オキーフなど19世紀から20世紀にかけての女性芸術家の活躍の軌跡をたどる展覧会です。肖像画や風景画、静物画といった絵画作品に加え、陶磁器やジュエリーなど、女性芸術家による多彩な79作品を楽しめます。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

平成 25 年度 第 5 回

「高齢者の最後の生活設計」

- 期日：8月7日（水） 13:30～15:00
- 講師：愛知県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
- 会場：名古屋商工会議所 3階第1会議室

自宅や預貯金など、これまで蓄えた財産を、子どもにどのように引き継いでいくか。高齢者にとって、相続は悩ましい問題の一つです。「相続」は「争族」ともいわれるように、遺産の相続は親族間のトラブルの大きな原因のひとつです。また、「平成 25 年度税制改正の大綱」で相続税の基礎控除額が引き下げられたことで、課税対象者が大幅に増えることが予想され、納税への備えも大切になってきます。

こうしたトラブルを防止するため、重要になってくるのが遺言書です。本講座では、遺言の必要性やその効力について説明すると共に、身辺整理を含めた高齢者の最後の生活設計について、お話しします。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

平成 25 年度 第 6 回

「金融機関との上手な付き合い方」

- 期日：9 月 11 日（水） 13:30～15:00
- 講師：NPOエイプロシス 証券カウンセラー 竹内 道子氏
- 会場：名古屋商工会議所 3階第1会議室

自分の大切な資産は、自分で守り育てていく時代です。

それには、生活設計を立て、夢や希望を叶えるため、自ら学び、上手にお金と付合うのが大事です。FP等の資格を持つプロに相談することも1つの方法です。そして、最終的には自らが判断をして、証券会社、銀行、保険会社等の金融機関にお金を委ねることになります。

当然ですが、金融機関は取扱商品に詳しく最新の情報があります。これを利用しない手はありません。これらを資産運用に役立てるために、金融機関とどのように付き合い、活用していくのかについて注意点を含めてポイントとなることを紹介します。

講師が所属するNPOエイプロシスは、産業界や証券界、学識経験者などの協力を得て設立された「投資と学習を普及・推進する会」という非営利活動法人です。このため、金融商品の勧誘などは一切ありませんので、安心して参加していただけます。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

平成 25 年度 第 7 回 名古屋歴史散策

「岡本太郎の鐘！ 清正の手形？ お不動さん・延命地蔵に願掛けを！」

■ 10 月 22 日（火） 13:30～15:00

■ 講師/名古屋産業大学 講師 中山 正秋 氏

■ 集合/名鉄瀬戸線清水駅改札口付近 13 時 20 分

■ 行程/瀬戸線清水駅→久国寺（岡本太郎作鐘）→普光寺（大仏）→一願山不動院（不動明王像）→蓮池弁財天（清正手形石）→首塚社→旧名古屋中学敷地・中京教会→長久寺→地蔵院、尼ヶ坂地蔵堂→名鉄瀬戸線尼ヶ坂駅（解散）

■ 定員/30 名（先着順、4km ほどの距離を健康に歩ける方に限定させていただきます）

爽やかな秋空のもと、名古屋の史跡を歩いてたずねる歴史散歩。本年は、古い信仰と新しい信仰が混在した名古屋北部の清水から白壁界隈を歩きます。

名古屋台地の北の縁辺である清水から白壁の北部には、今なお庶民の信仰が篤い寺社や祠（ほこら）が点在しています。古代の遺跡としては、台地上に長久寺貝塚や片山神社遺跡があり、片山神社は延喜式神名帳に記載される古社です。

名古屋城が築城され、名古屋が開府すると、このあたりが町として発展しました。清洲越の長久寺や名古屋城守護のために建てられた八王子神社・久国寺などがあり、普光寺には、江戸時代の名古屋城下の古絵図が伝わっています。

近代に入ると金城学院・名古屋中学とキリスト教の学校が建てられました。この地区のプロテスタントの拠点である中京教会も作られ、多くの外交人宣教師が活躍しました。また日本人のクリスチャンである内村鑑三が名古屋中学で教えていたこともあります。また、新しいところでは、久国寺に岡本太郎が製作した角のある梵鐘があり、見どころとなっています。

古代から現代まで、さまざまな史跡が混在するこの地域には、意外な名古屋の歴史を感じ取ることができます。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

平成 25 年度 第 8 回

「民俗芸能の十字路 奥三河―花祭りを中心にして―」

- 期日：11 月 27 日（水） 13:30～15:00
- 講師：（一社）奥三河ビジョンフォーラム事務局長
奥三河ふるさとガイド 高田 孝典氏
- 会場：名古屋商工会議所 3 階第 4 会議室

愛知県の東端に位置し、南信州（長野県）と遠州（静岡県）に接する奥三河山間地域は、古くから民俗芸能の宝庫として、柳田国男、折口信夫、早川孝太郎等多くの民俗学者が目し、草の根分けて村々を訪れた地域です。

ここには、芸能の源流ともいえる「神楽」「田楽」「風流」を始め、多くの“祀り”が密集し、鎌倉、室町から何百年と言う時空間を超えて周期伝承されてきました。殊に湯立神楽「花祭り」は、厳寒の冬に早春を待ち焦がれる村人たちの壮絶な祈りの場として、神々に神聖な湯が献じられたのでした。

時は過ぎ、今奥三河の村々はいずれも過疎に苦しんでいます。しかし、今こそ祀りを担ってきた先人のバイタリティーと、その豊潤なエキスを取り出すことの大切さを感じ取ってほしいと思います。そして、願わくば一人でも多くの人たちが奥三河に足を運んでいただき、“舞庭”に踏み入って神々と饗宴してもらえたら、演者にとって本当に心強く嬉しい限りです。

12 月からの「花祭り」の開催を控え、民俗芸能の十字路である奥三河の魅力をお伝えします。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

第9回

「名古屋に来たドイツ人俘虜」

- 期日：12月16日（月） 13:30～15:00
- 講師：青島戦ドイツ兵俘虜研究会会員 校條（めんじょう） 善夫 氏
- 会場：名古屋商工会議所 3階第4会議室

第一次世界大戦中の大正三年（1914年）、中国の青島を戦場に日独戦争がありました。日本は圧倒的な戦力で勝利し、ドイツ兵約五千人が俘虜となり、そのうち約五百人が名古屋にやってきました。

名古屋に来たドイツ人俘虜は、現在の県立旭丘高校の場所に設けられた収容所に収容され、広大な敷地のなかで行き届いた生活を送り、音楽、読書そしてスポーツなど文化的な日常生活も保障されていました。特種技能をもつ俘虜は地元企業に出入りし、その技能を發揮することができました。名古屋市民は俘虜を手厚くもてなし、それに感謝したドイツ政府から名古屋市にプロシャ赤十字勲章が贈られています。

本講座では、知られざる日独文化交流であり、また、名古屋の産業の発展にも寄与したドイツ人俘虜についてご紹介します。

マリーゴールド倶楽部 教養講座

平成 25 年度 第 10 回

名古屋ボストン美術館

ボストン美術館浮世絵名品展 第 3 弾 「北斎」

- 期日：平成 25 年 1 月 22 日（水）
- 講師：名古屋ボストン美術館 学芸員 鏡味千佳 氏
- 会場：名古屋ボストン美術館
- 集合：金山南ビル（名古屋ボストン美術館のあるビル）1 階インターコモン付近 9:50
- 定員：40 名（先着順）

抜群に保存状態が良く、その色鮮やかさが話題騒然となった「ボストン美術館浮世絵名品展」。シリーズ最終回となる第三弾は、「北斎」を中心とした選りすぐりの約 140 点を紹介しています。「富嶽三十六景」はもちろん、花鳥画、妖怪画、武者絵、肉筆や版下絵、さらには初公開作品と盛りだくさんの内容で、北斎の画業をたどっています。

第 11 回

「第 24 回長寿社会公開講座・長寿社会フォーラム」

共通テーマ「わたしが選ぶ いきかた すまい みらい」

■長寿社会公開講座「在宅で暮らすということ（仮称）」

- ・主催／愛知医科大学、日本福祉大学
- ・共催／愛知県社会福祉協議会
- ・会場／日本福祉大学 名古屋キャンパス（名古屋市中区千代田 5-22-35）

様々な条件を見比べ、自分のこだわりにあった生き方、すまい、未来を選択する時代です。今回は在宅をキーワードに、自宅で暮らすということを考えます。

「健康な老い方、暮らし方を考えよう」

期日：1月25日（土） 13:00～15:00

講師：愛知医科大学看護学部老年看護学 准教授 飯盛茂子 氏

「終の棲家の選び方（仮称）」

期日：2月1日（土） 13:00～15:00

講師：日本福祉介護総研株式会社 代表取締役 石郡英一 氏

■「長寿社会フォーラム」

3月7日（金） 13:00～16:00

・主催

中日新聞社、中日新聞社会事業団、東海テレビ放送、東海テレビ福祉文化事業団、愛知医科大学、日本福祉大学

・会場

東海テレビ テレピアホール（名古屋市東区東桜一丁目 14-27）

「一人で家で死ねますか（仮称）」

講師／小笠原医院院長、日本在宅ホスピス協会会長 小笠原文雄氏

岐阜市加納にある 24 時間対応の在宅療養支援診療所小笠原医院の院長であり、75 万部のベストセラー「おひとりさまの老後」執筆者である上野千鶴子さんと「住み慣れた自宅で介護が必要な状態になったら、適切な医療、看護、介護の訪問サービスを利用し、末期になったらそのままそこで死ぬ＝「在宅ひとり死」を実現するためには、どのような条件が揃えばよいのか？」に迫った「小笠原先生、ひとりで家で死ねますか」が朝日新聞出版から好評発売中です。

■応募方法

長寿社会公開講座、長寿社会フォーラムのいずれかを選択してください。

■定員

長寿社会公開講座各 10 名（先着順）

長寿フォーラム 30 名（先着順）

■締切日 1月15日（水）

第 11 回

「第 24 回長寿社会公開講座・長寿社会フォーラム」

共通テーマ「わたしが選ぶ いきかた すまい みらい」

■長寿社会公開講座「在宅で暮らすということ（仮称）」

- ・主催／愛知医科大学、日本福祉大学
- ・共催／愛知県社会福祉協議会
- ・会場／日本福祉大学 名古屋キャンパス（名古屋市中区千代田 5-22-35）

様々な条件を見比べ、自分のこだわりにあった生き方、すまい、未来を選択する時代です。今回は在宅をキーワードに、自宅で暮らすということを考えます。

「健康な老い方、暮らし方を考えよう」

期日：1月25日（土） 13:00～15:00

講師：愛知医科大学看護学部老年看護学 准教授 飯盛茂子 氏

「終の棲家の選び方（仮称）」

期日：2月1日（土） 13:00～15:00

講師：日本福祉介護総研株式会社 代表取締役 石郡英一 氏

■「長寿社会フォーラム」

3月7日（金） 13:00～16:00

・主催

中日新聞社、中日新聞社会事業団、東海テレビ放送、東海テレビ福祉文化事業団、愛知医科大学、日本福祉大学

・会場

東海テレビ テレビピアホール（名古屋市東区東桜一丁目 14-27）

「一人で家で死ねますか（仮称）」

講師／小笠原医院院長、日本在宅ホスピス協会会長 小笠原文雄氏

岐阜市加納にある 24 時間対応の在宅療養支援診療所小笠原医院の院長であり、75 万部のベストセラー「おひとりさまの老後」執筆者である上野千鶴子さんと「住み慣れた自宅で介護が必要な状態になったら、適切な医療、看護、介護の訪問サービスを利用し、末期になったらそのままそこで死ぬ＝「在宅ひとり死」を実現するためには、どのような条件が揃えばよいのか？」に迫った「小笠原先生、ひとりで家で死ねますか」が朝日新聞出版から好評発売中です。

■応募方法

長寿社会公開講座、長寿社会フォーラムのいずれかを選択してください。

■定員

長寿社会公開講座各 10 名（先着順）

長寿フォーラム 30 名（先着順）

■締切日 1月15日（水）

第 12 回

「闘う介護！介護の本質」

■平成 25 年 3 月 17 日（月） 15:00～16:30

■講師：介護福祉士 和田 行男 氏

■会場：名古屋商工会議所 第 会議室

予備軍を含めれば、全国で 800 万人といわれる認知症の高齢者。25 年前、介護の世界に飛び込み、認知症の高齢者が隔離されて介護されることに疑問を感じた和田氏は、介護の仕方によっては普通の暮らしができることを主張し、少人数で共同生活を送る「グループホーム」で先駆的な取り組みを続けてきました。そうした介護に対する取り組みをまとめた著書、「大逆転の痴呆ケア」は業界で大ブレイクし、介護に携わる人々のバイブルともなっています。

NHKテレビ「プロフェッショナル－仕事の流儀」やNHKスペシャル「認知症 800 万人時代 どう向き合うか？」（昨年 11 月 23 日放映）などテレビ出演も豊富な認知症介護のエキスパート、和田行男氏に介護のあるべき姿、介護の本質を語っていただきます。